様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2026 年 6 月 24 日

都道府県知事
（市長） 福島県知事 殿



提出者
住 所 福島県東白川郡棚倉町大字福井字一里檀1番地
氏 名 Astemoハイキャスト㈱
福島工場
工場長 丸山 泰宏
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0247-33-3281

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2025 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	Astemoハイキャスト㈱ 福島工場
事業場の所在地	福島県東白川郡棚倉町大字福井字一里檀1番地
事業の種類	日本産業標準分類 2251 銑鉄鋳物製造業（鋳鉄管・可鍛鉄を除く）
産業廃棄物処理計画における計画期間	2025年4月～2026年3月（1年間）

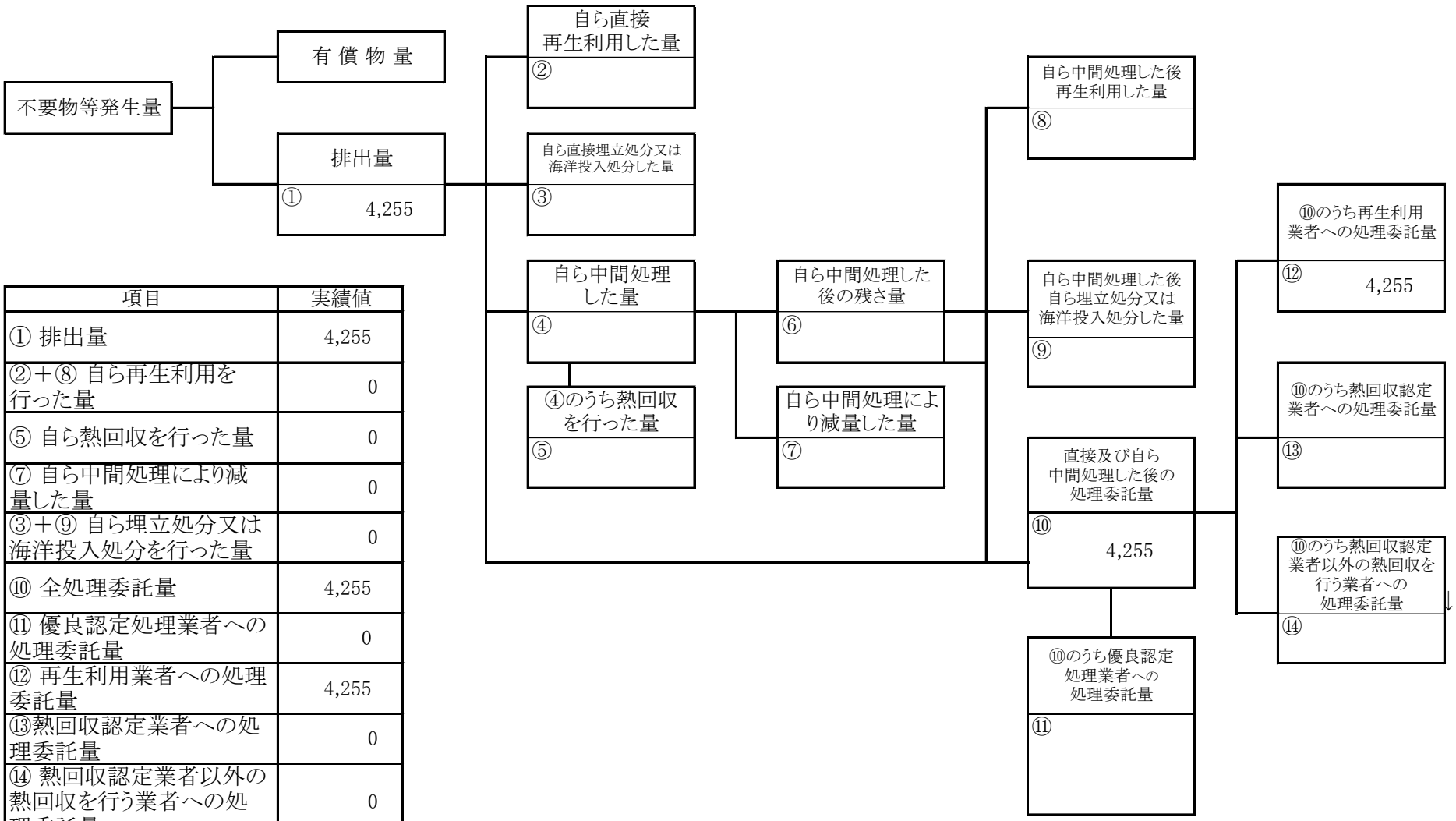
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	12,065 t	全処理委託量	12,065 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0.34 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	12,065 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

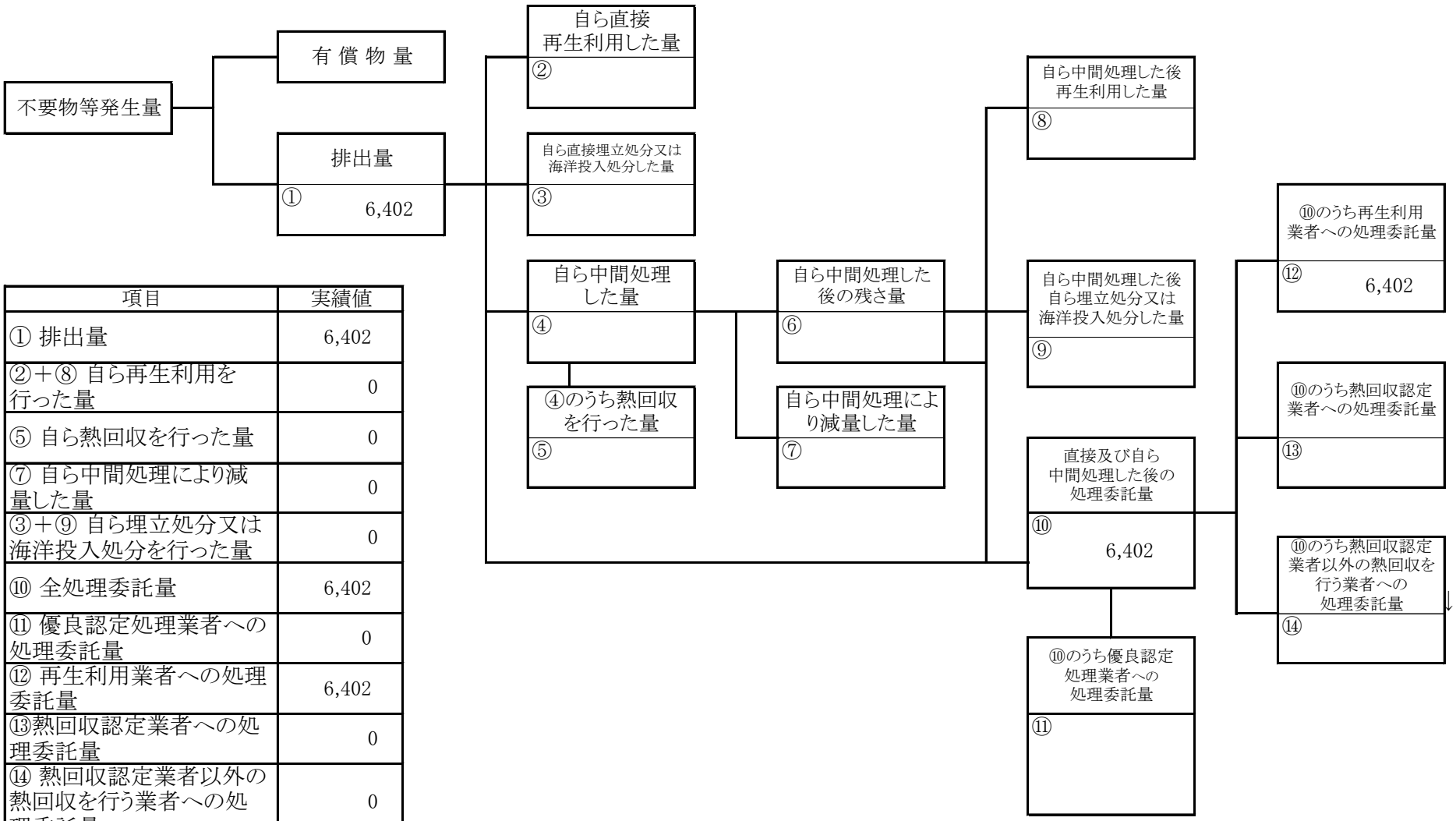
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　鉱さい__集塵ダスト　　）



項目	実績値
① 排出量	4,255
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	4,255
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	4,255
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

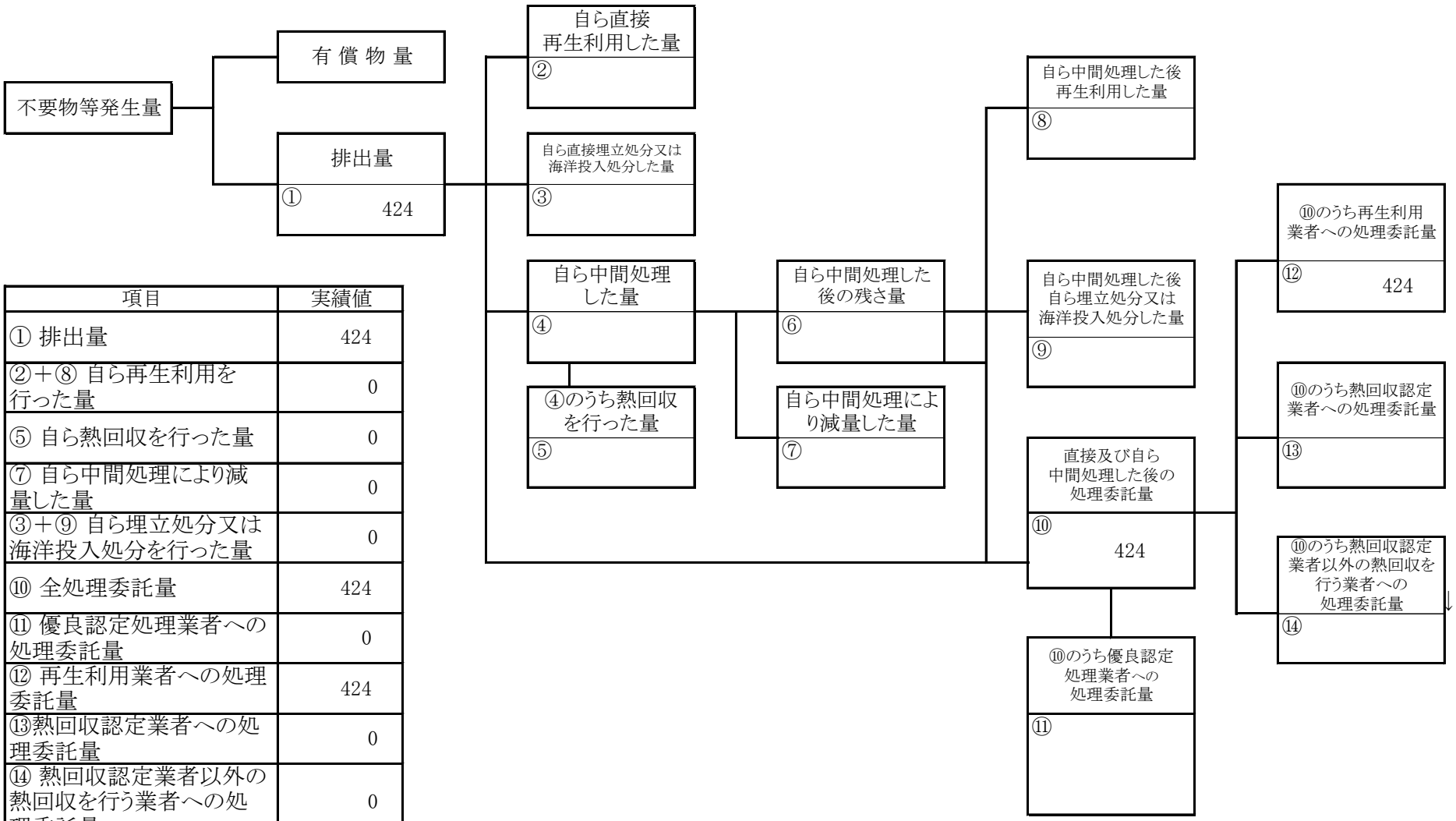
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　鉱さい＿鋳物砂・中子砂　　）



項目	実績値
① 排出量	6,402
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	6,402
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6,402
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

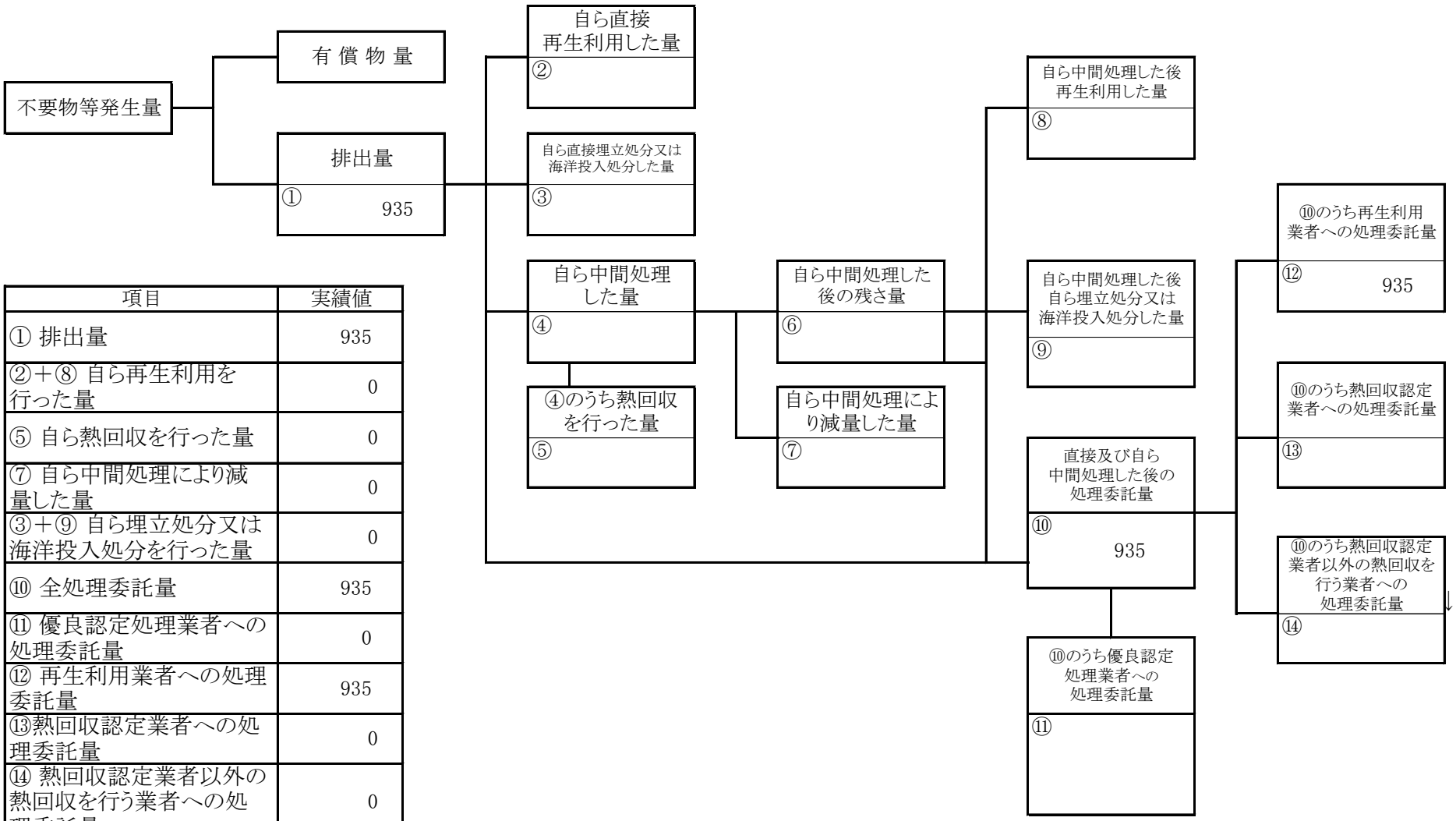
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　鉱さい＿ノロ　　）



項目	実績値
① 排出量	424
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	424
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	424
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

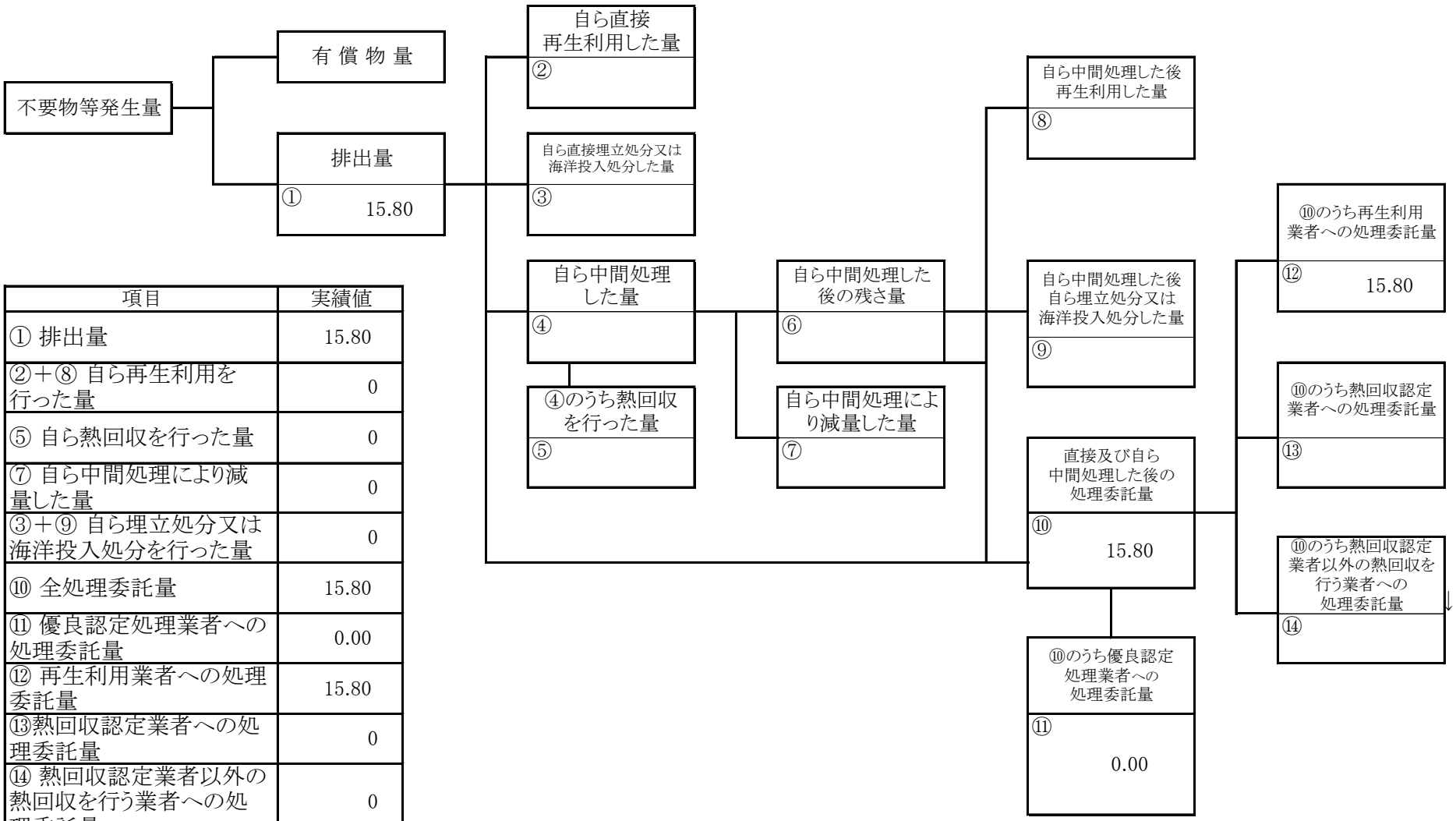
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　鉱さい＿耐火材　　）



項目	実績値
① 排出量	935
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	935
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	935
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

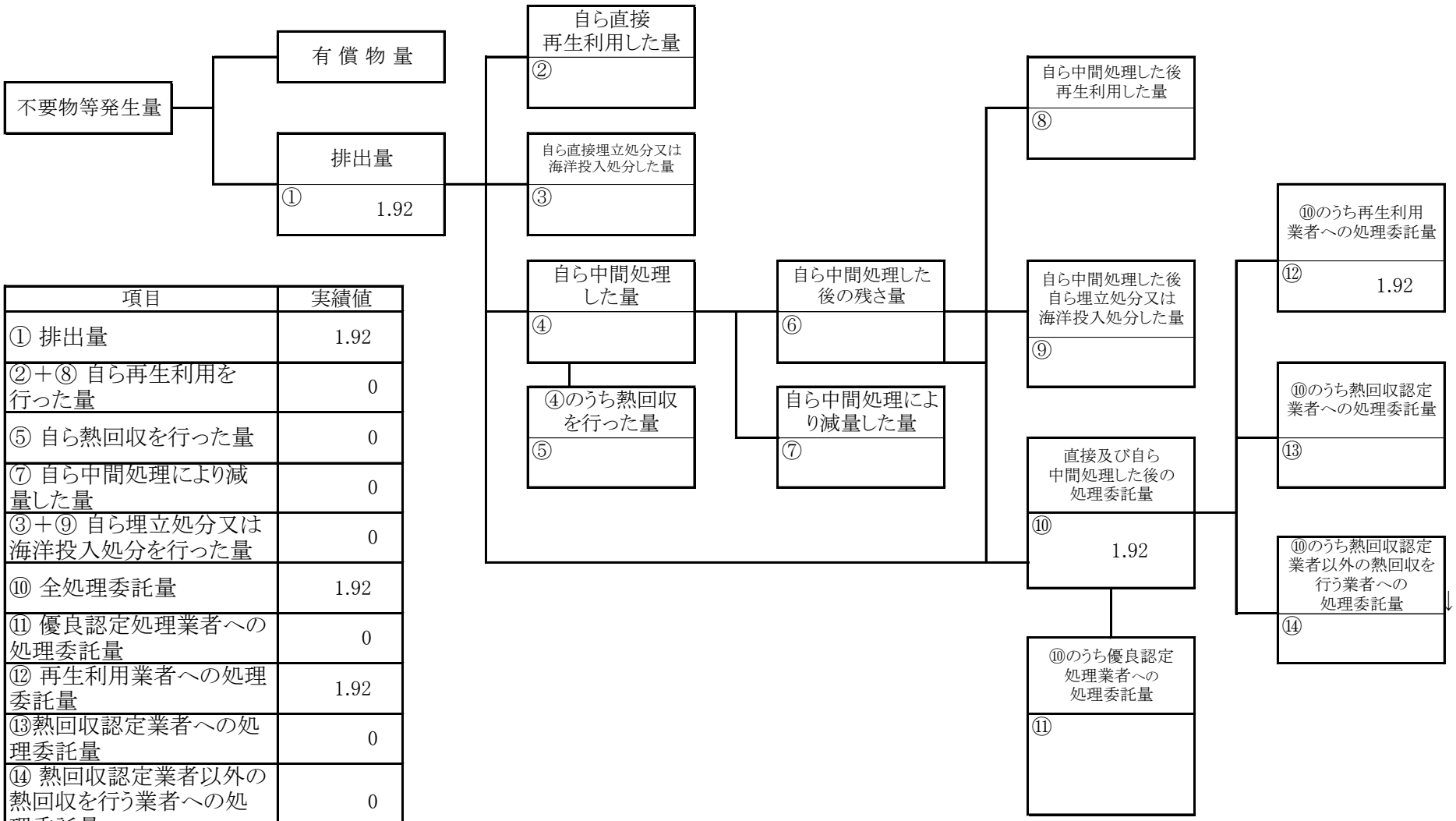
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿廃油　　）



項目	実績値
① 排出量	15.80
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	15.80
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫ 再生利用業者への処理委託量	15.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

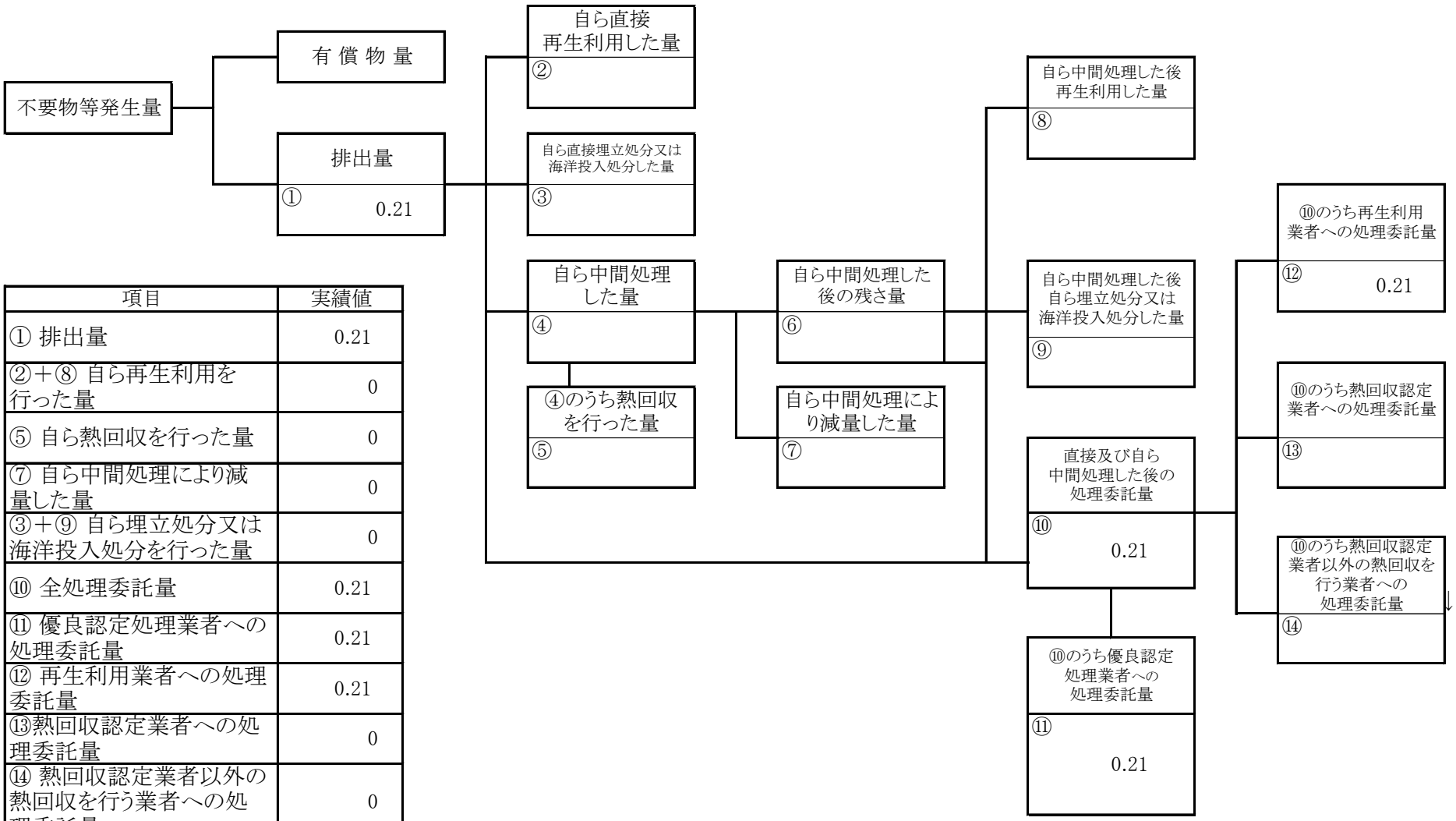
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿紙くず　　）



項目	実績値
① 排出量	1.92
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1.92
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1.92
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

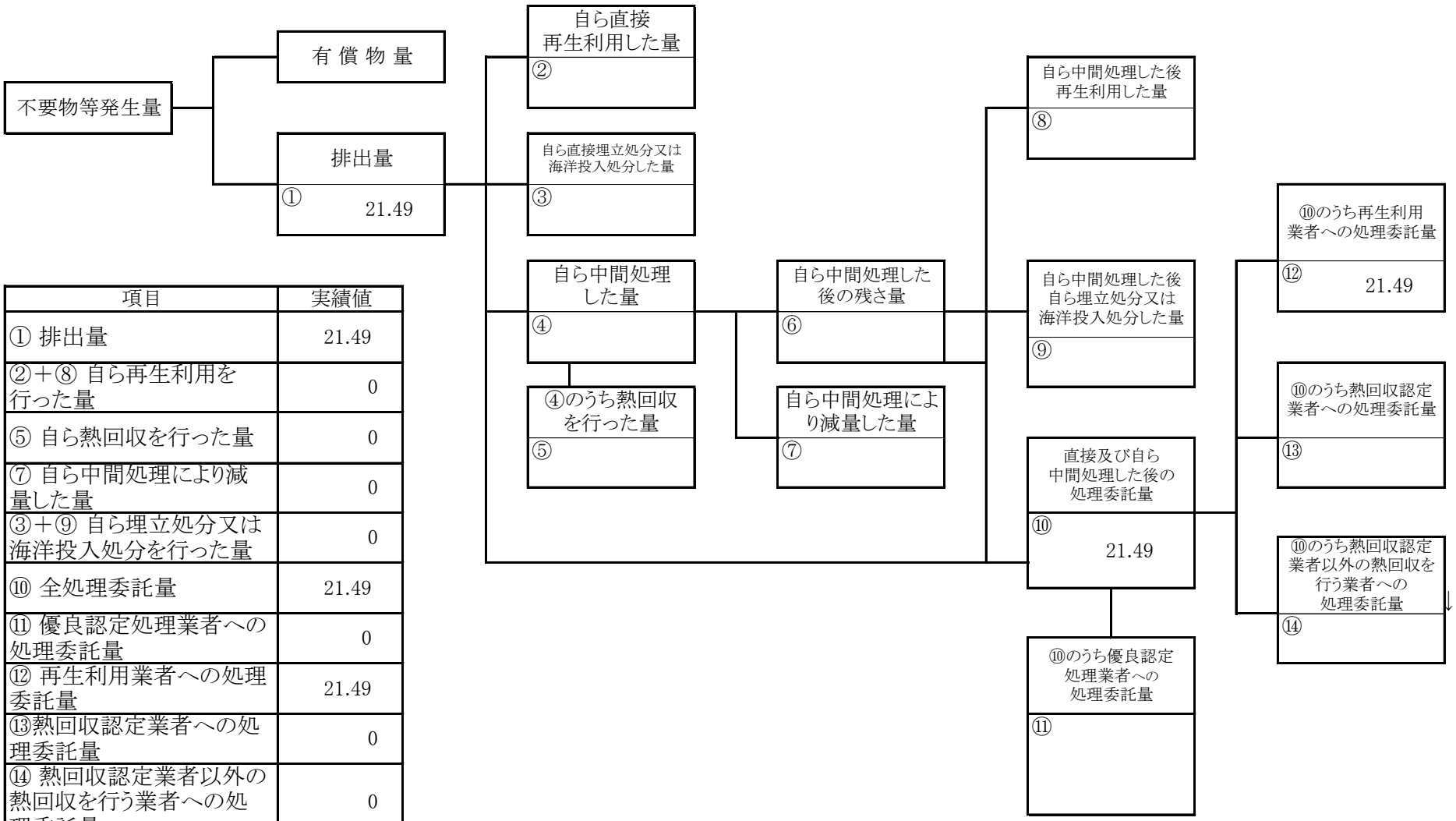
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿廃アルカリ　　）



項目	実績値
① 排出量	0.21
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.21
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.21
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

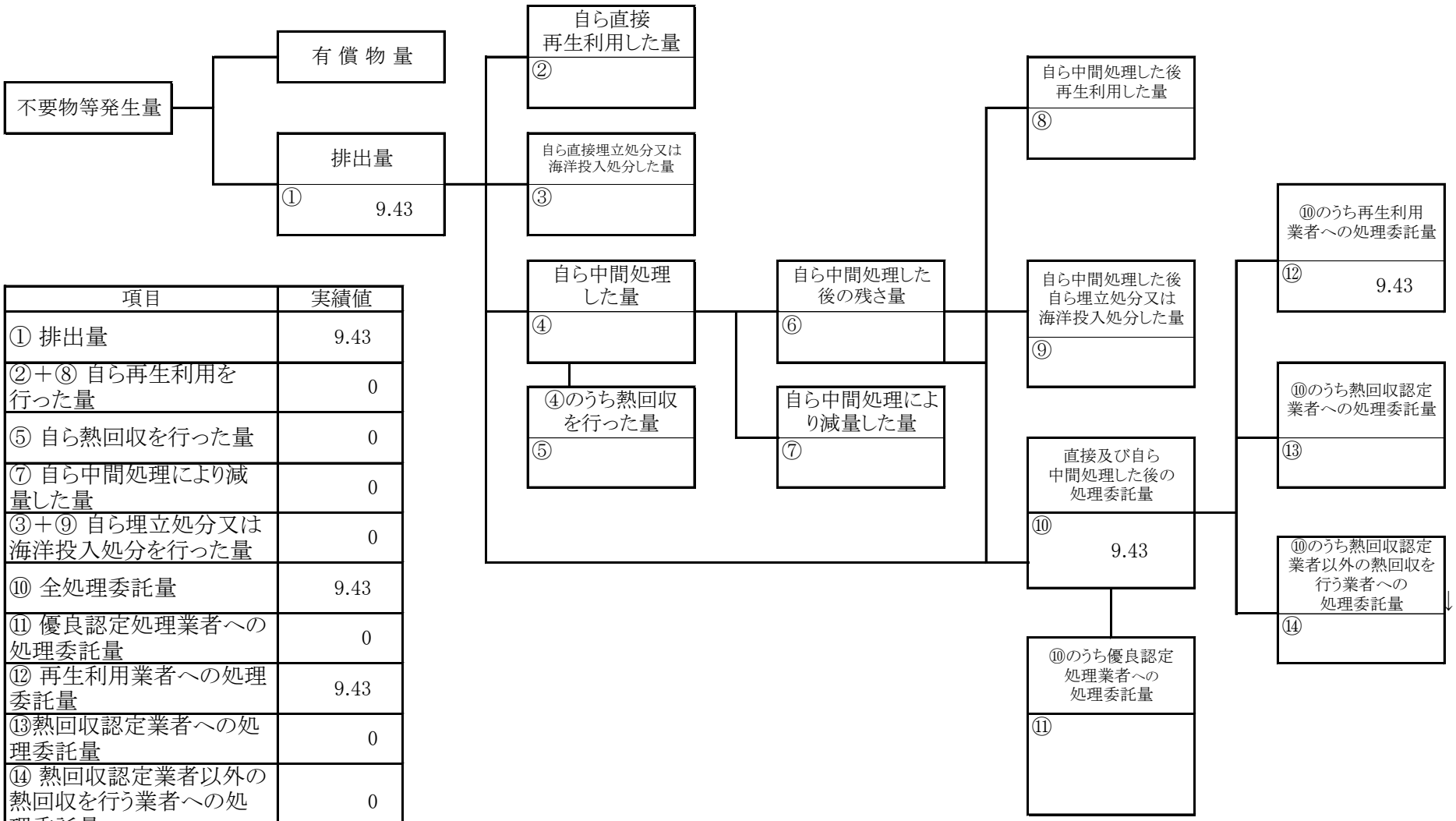
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿廃プラスチック類　　）



項目	実績値
① 排出量	21.49
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	21.49
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	21.49
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

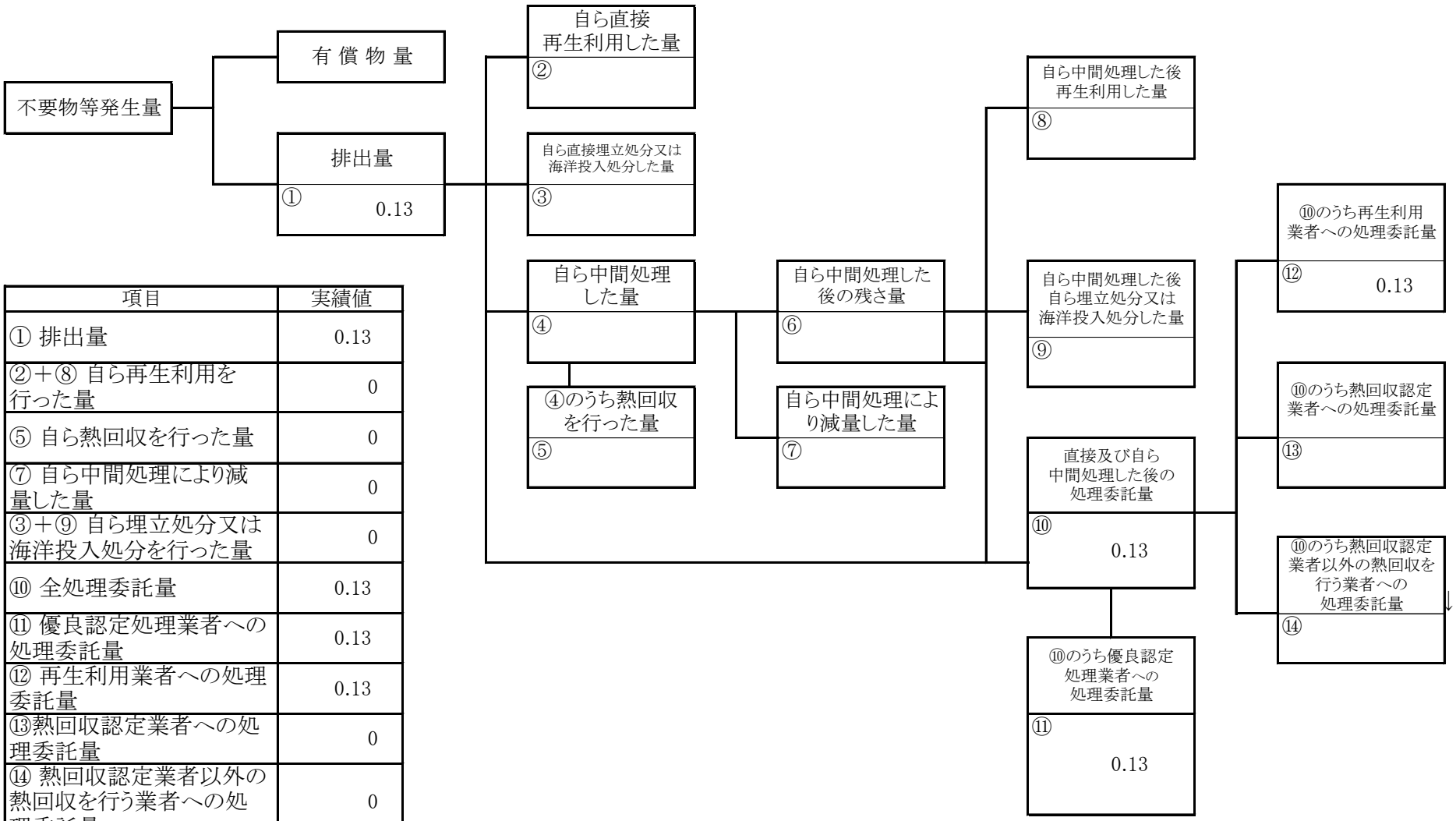
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿木くず　　）



項目	実績値
① 排出量	9.43
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	9.43
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	9.43
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃＿汚泥　　）

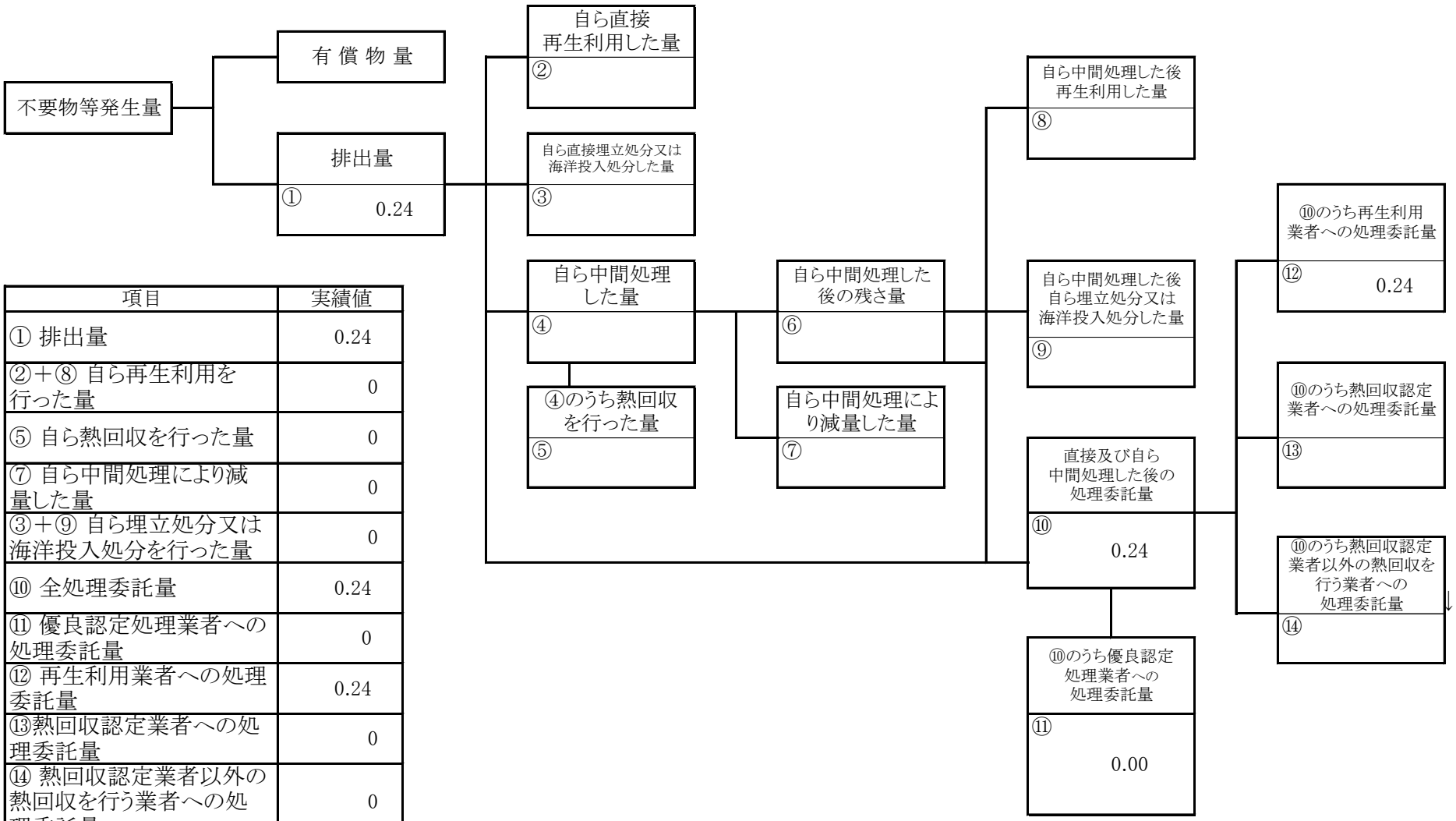


項目	実績値
① 排出量	0.13
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.13
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.13
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

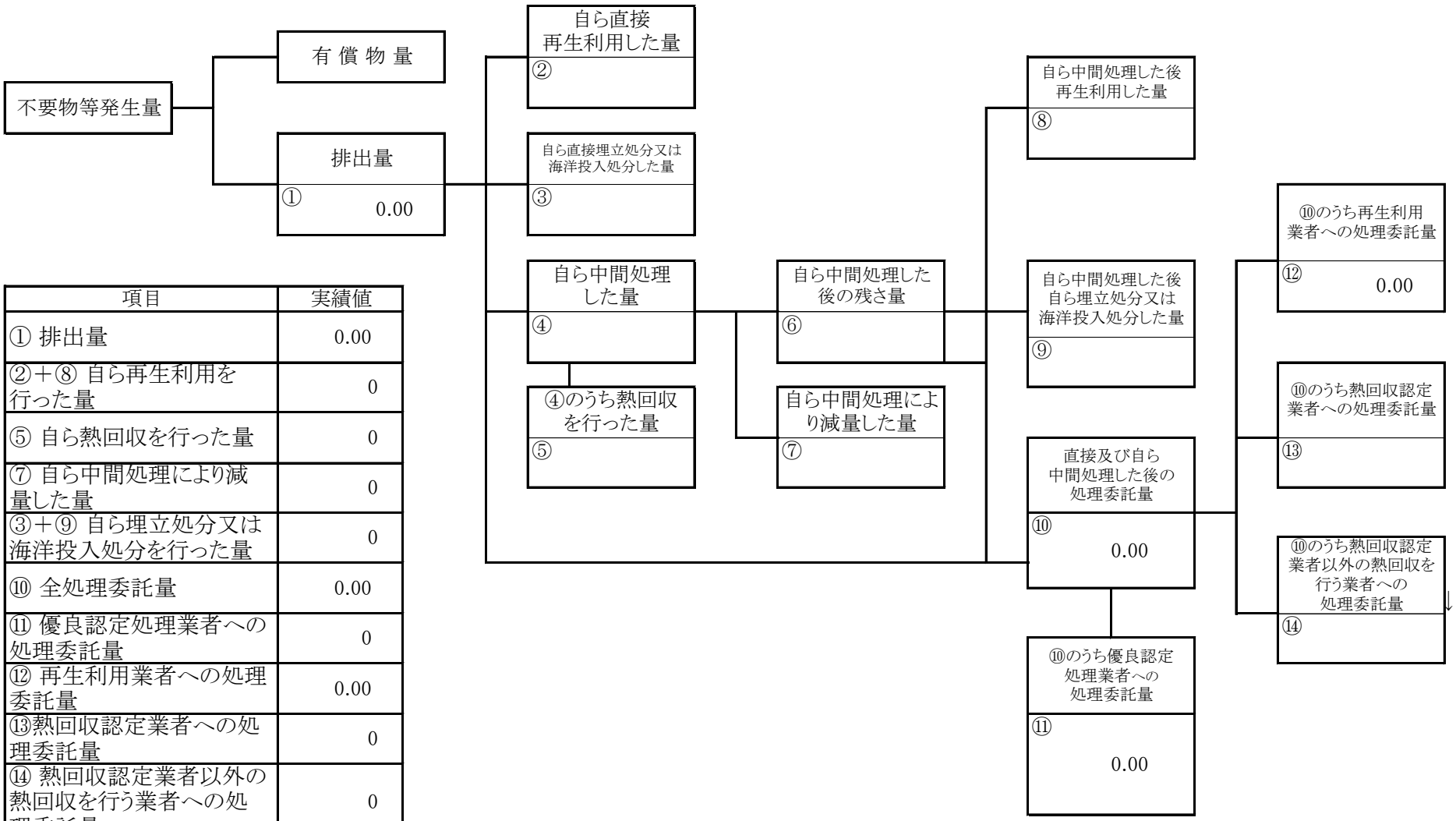
（産業廃棄物の種類：　産廃＿ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　）



項目	実績値
① 排出量	0.24
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.24
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　産廃__水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)　）



項目	実績値
① 排出量	0.00
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.00
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

第２面
計画の実施状況

	【前年度　（2025年度）　実績】														
	産業廃棄物の種類		鉱さい（集塵ダスト）	鉱さい（鋳物砂、中子砂）	鉱さい（ノロ）	鉱さい（耐火材）	廃油	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	汚泥	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	水銀使用製品（蛍光灯）	合計
①実績	全処理委託量（ｔ）		4,254.880	6,401.640	423.770	935.180	15.800	1.920	0.210	21.490	9.430	0.130	0.240	0.000	12,064.690
		優良認定業者への処理委託量（ｔ）							0.210			0.130			0.340
		再生利用業者業者への処理委託量（ｔ）	4,254.880	6,401.640	423.770	935.180	15.800	1.920	0.210	21.490	9.430	0.130	0.240	0.000	12,064.690
		認定熱回収業者への処理委託量（ｔ）													
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（ｔ）													

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。